



オーレ!
Oié!



SHIMIZU
S-PULSE



RESTART
NO GUTS, NOWIN.

地域スポーツ事業のあり方 経営者として育成の重要性

株式会社エスパルス 代表取締役社長 左伴繁雄さん



© S-PULSE

昨年10月24日のホーム最終戦、サポーターの皆様の前で「1年間で復帰します」と宣言させていただきました。過去に1年で復帰した8クラブがやってきた

復帰の方程式は、現有の戦力を維持し、自分のチームと対戦チームの力を冷静に分析出来る経験豊かな指導者のもとで、もう一度巻き直しを図る事です。J2に降格すると、アウェイのお客様が減り、放映権料が減り、年商が約1割減ります。エスパルスは年商約30億円ですから減少分としては3億円。その3億円を他の収入で持ちこたえて、強化費を維持し、新しい監督に来ていただきました。これは今季を戦って結果を出し、1年でJ1に戻るための方策です。

一方、私が今日、申し上げたいのは、このおカネのかかるやり方をこのまま続けていいのかということ。今は地域で育てた選手がトップチームで活躍し、代表に選ばれ、という地域にも喜ばれ、コストパフォーマンスも高いサイクルを必ずしもまわしていません。「育成」に焦点を当てて、長期にわたってチームを強くしていくことが必要です。

60万人がエスパルスの事業に参加している

多くの皆様が、エスパルスが行う多角的な事業に関わってくださっています。試合を観戦いただいている皆様は年間27万人弱ですが、試合以外のサッカースクール、Jステップや清水テルサでの健康増進教室、幼稚園巡回などで、エスパルスの事業に参加されている皆

様は年間33万5千人。ふたつを合わせると60万人。それは、トップチームが勝利と感動をお届けできないと、その影響が大きいことを物語っています。静岡でサッカーを生業とすることの重みを感じている次第です。新体制とともに発表した「エスパルス・ビジョン2018」の経営ビジョンのひとつ「持続可能な成長による揺らぐことのないクラブ力の構築」というものがあります。それはクラブ再建のためには一番重要と位置付けており、その一つが「育成」です。

外から補強した選手は当たり前外れがある

昨年のエスパルスの人件費は13億円。これは優勝したサンフレッチェ広島と、ほぼ同額です。それでなぜ降格なのか。スタメンや途中交代で出場した選手の給料を時間割して積み上げると、エスパルスの実働は7億円弱。サンフレッチェ広島は9億6千万円。給料の高い選手が試合で活躍しているか。外国人を含めて、外から補強をした選手は、当たり前外れがあります。未知数の状態で入ってくる選手が多いクラブは、実働金額が低い。このやり方を続けるには、強化費を上げていかなければならない。

こういった面からも、地元で手塩にかけて育てた選手たちがJリーガーになっていくサイクルを早期に作り上げることが大事です。そして実働金額を人件費の8割まで上げていくことが、強いチームになり、言い換えれば地元出身の選手がトップで活躍することにつながっていきます。

代表クラスに上がる選手たちを自前で育てるには6年かかります。U12の小学生からU18の高校生まで、業界では200人2億円の投資と言われています。1人あたり年間100万円の投資で6年間、英才

教育をする。受益者負担がありますから、1人6百万円以下で、自分たちのサッカーの軸を心身ともに叩き込んだアスリートができあがりません。補強では5千万〜6千万円の契約金を払わなければならない逸材が、6年間の英才教育で輩出できます。その根拠となるU12のチームが1昨年までエスパルスに無かったのが、ひとつの問題でした。

静岡のサッカーは追い越されたのか

1993年から現在まで、静岡の小学校から中学、高校までの各世代の全国大会の結果を見ますと、1998年までは、まんべんなく優勝を重ねています。1999年を境に、特に高校世代が優勝から遠ざかっています。静岡のサッカーに追いつけ、追い越せと、Jリーグのクラブは、静岡のサッカーとインフラを勉強し、自分たちのクラブの育成組織、コーチングスタッフの指導理論を構築し、ドイツのアカデミーの理論を採り入れて、今日に至っています。エスパルスの育成部門は、静岡を学んだ他のクラブよりも若干、気づくのが遅かったのではないかと。

これを早急に建て直すために、①ジュニアユース・ジュニア部門の拡充、②育成組織施設環境の整備、③海外遠征および交流事業拡大、④指導者スタッフの海外研修の4つの活動に取り組みます。地域の子どもたちが、エスパルスを通じて、代表で活躍し、海外に羽ばたけるよう、コーチングスタッフにも陽を当て、士気を上げていきたい。

短期的なビジョンはクラブ主体でやっていきます。「育成」という中期的ビジョンは、静岡のまちおこしのひとつに位置づけていただき、ぜひ商工会議所の皆様をはじめ静岡のホームタウン全体で支えていただければ、切にお願い申し上げます。

(2月25日の第69回常議員会、第28回議員懇談会での講話要旨)



静岡商工会議所は清水エスパルスをサポートしています。